

【Gスクエア新企画】日本×タイの文化・語学交流イベント 「Cross Border Exchange」開催

2015年4月30日（木）、多摩キャンパスGスクエアにて、Skype等を利用し中央大学と海外の大学の学生どうしが文化交流する新企画「Cross Border Exchange」がスタートしました。1回目の交流先は、本学の協定校であるタイのタマサート大学です。「大学間だけでなく、学生どうしの交流も深めよう！」と、学生の発案で実現しました。

当日、Gスクエアには、中央大学タイ・オフィスの開所式に参加した学生、タイを旅行したことがあるタイ大好き学生、タイに興味がある学生に加えて、タマサート大学から来日したタイ人交換留学生2名など11名が集合しました。

指定の時刻となり、Gスクエアにある巨大スクリーンにタマサート大学側の参加者が映ると会場はにわかに興奮状態となりました。タマサート大学には、交換留学で派遣された本学法学部生を中心に、日本語学科で学んでいる学生、日本に興味がある学生など約10名が集まっていました。

参加者がそれぞれ自己紹介した後、学生生活やランチメニュー、ファッションなどについて話が盛り上がり、最後には画面を通して連絡先を交換するなど、日本語、英語、タイ語が飛び交う活気のある交流となりました。

文部科学省「トビタテ！留学JAPAN」—日本代表中大生の躍進—



第1期生の壮行会のようす

2013年10月、文部科学省は民間企業・団体と連携して、留学促進キャンペーン「トビタテ！留学JAPAN」を発足しました。海外留学などの新しいチャレンジに、自ら一步を踏み出す気運をつくることを目的としています。2014年には、官民が協働して行う海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」が本格始動しました。

2020年を目処に、日本人留学生を倍増させる目標を掲げています。派遣留学生は支援企業とともにグローバル人材コミュニティを形成し、“産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、または世界を視野に入れて

活躍できる人材”へと育成されます。帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト（伝道師）として、日本全体の留学機運を高めることが期待されています。

本学の合格者数は2014年第1期（7月選考）に8名（323名中）、2015年第2期（2月選考）に3名（256名中）が合格しました。

本学の1期生は、「世界トップレベル大学等コース」などに派遣中され、現在は各自の留学計画を終了させ帰国。2015年4月からは2期生の派遣が始まっています。また、1期生の齋藤直哉さん（法4）、中川瑛さん（法4）は本制度のポスターに採用され、Webサイトやパンフレット等で留学計画や留学中のようすが紹介されています。これら本学学生の活躍に伴い、文科省グローバル人材育成推進事業に関する本学Webサイト「GO GLOBAL」内に特設ページを設け、1期生、2期生の活動報告等の掲載を進めています。5月26日（火）には、彼らの活動報告会が国際センター主催の留学フェアで実施されました。